

医事法Ⅱ

科目ナンバリング NFL-302
選択 2単位

船橋 亜希子

1. 授業の概要(ねらい)

現在、医療に関わらずに一生を終えることは難しいほど、医療は私たちの生と死に深く関係しています。本授業は、みなさんがこれまで法学部で学んできた知識を前提に、過去の薬害事案を知り、現代の医療において重要なことは何か、そして、医療における法の役割・機能とその限界を学びます。また、裁判例を題材としたグループワークを通じて、具体的な事案における課題の認識とその解決方法を考えます。

2. 授業の到達目標

(目的)

法学部で学んできた知識を生かして、医療と法の交錯する学問領域である「医事法」に関する課題を認識し、解決方法を示すことを目的とする。講義を通じて、必要な医事法学に関する知識を修得し、他の受講生との裁判例等の検討を通じて、自ら考える姿勢を身につける。

(目標)

- ・薬害の歴史について説明することができる
- ・研究と診療の相連について説明することができる
- ・具体的事案の解決のために必要な基本的な法的知識を身につけ、それをういて検討することができる
- ・事案の検討を通じて、課題を認識し、解決方法を考え、説明することができる

3. 成績評価の方法および基準

グループワーク、プレゼンテーション等(50%)
小テスト、課題等(50%)

授業内発言等の内容によっては加点の対象とし、他の受講生への迷惑行為は減点の対象とします。
詳しくは、授業内で説明をしますので、初回の授業に必ず出席するようにしてください。

4. 教科書・参考文献

教科書

米村滋人 医事法講義 日本評論社

参考文献

井上悠輔・一家綱邦 医学研究・臨床試験の倫理:わが国の事例に学ぶ 日本評論社
甲斐克則・手嶋豊 医事法判例百選[第2版] 有斐閣

5. 準備学修の内容

(予習)

- ・教科書の該当するページを読み、理解すること
- ・グループワークに積極的に参加し、毎回全員が発言すること
- ・グループワーク、プレゼンテーションに向けてしっかりと準備すること

(復習)

- ・授業後に、レジュメ等を用いて授業の復習を行うこと
- ・わからないことをそのままにせず、図書館で調べたり、質問するようにしてください

6. その他履修上の注意事項

- ・憲法、民法、刑法を履修済みであることが望ましい
- ・グループワーク、プレゼンテーション、授業内発言等に積極的に参加しない場合、単位取得はできません
- ・他の受講生の妨げになるような行為は厳に慎むこと
- ・録音・録画・写真撮影等は禁止します(必要がある場合には、必ず事前に相談にきてください)

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 医事法を学ぶために
- 【第3回】 薬害の歴史を知る①
- 【第4回】 薬害の歴史を知る②グループワーク発表
- 【第5回】 医薬品等はどうに規制されているか?
- 【第6回】 研究と診療①臓器移植について考えてみる
- 【第7回】 研究と診療②生殖補助医療について考えてみる
- 【第8回】 研究と診療③再生医療について知る
- 【第9回】 精神医療について考えてみる
- 【第10回】 感染症について考えてみる①ハンセン病について知る
- 【第11回】 感染症について考えてみる②ハンセン病国家賠償訴訟判決(熊本地裁平成13年5月11日判決)を読む
- 【第12回】 感染症について考えてみる③ハンセン病国家賠償訴訟判決その後、グループワーク発表
- 【第13回】 感染症について考えてみる④パンデミックと法
- 【第14回】 まとめ
- 【第15回】 試験と解説

* 参加者の理解度や関心により、講義内容を変更することがあります。